

平成27年度 事業別予算概要

事業名	42100	公共便所管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画		市長公約
	種別			款	4	衛生費		基本分野	2			
担当課	水道部 下水道課		内線	項	2	清掃費	分野	2	生活環境	H27実施計画額		千円
		2264		目	1	清掃総務費		施策概要	2			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	どうしたいのか(意図)	・公衆便所の整備や維持管理を行い、誰でも快適に利用できるようにする	概要	事業の実施手法(手段)	・年間を通して快適に公衆便所を利用できるように清掃等の維持管理を行う ・観光客等の動向とニーズの変化を見極め、公衆便所の整備、改修の必要性を検討する
	対象者数	3,945,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	・定期的な清掃の実施 ・中心市街地にある公衆便所(3か所)の便器の洋式化工事を実施						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		公衆便所の設置	箇所	目標値	12	12	11	12
	算出根拠等	所管する公衆便所の箇所数	達成率(%)	100	100	100		
	活動指標	公衆便所の維持管理	日数	目標値	365	365	365	365
		算出根拠等	トイレの維持管理日数	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	公衆便所の新規整備	箇所	目標値	0	0	0	0
		算出根拠等	整備箇所数	達成率(%)				
	成果指標	公衆便所の維持管理に対する苦情	件	目標値	0	0	0	0
		算出根拠等	実際に寄せられた苦情	達成率(%)				
補足			目標値					
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	・施設の整備・修繕・改修については、観光客等の動向と利用者ニーズの変化を見極めるとともに、継続して必要性の検討を行っていく必要がある
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・トイレにおける衛生面の確保と快適性の維持のため、清掃は定期的に行っている ・昨年度の利用者からの苦情は「0」であるが、今後も適正な維持管理と清掃時における利用者への丁寧な対応に心がけるよう、委託業者とも連絡を取り合う	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・引き続き、清潔で使用しやすい公衆便所として維持管理を行っていく (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	
二次評価	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	13,136	15,860	15,253	14,517
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3	4	4	4
	受益者	観光客入込み数	(B)	3,769,000	3,945,000	3,945,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	下水道課所管の公衆便所の適切な維持管理	要求のポイント	・施設の維持管理に必要な清掃委託費、光熱水費等を計上	事業実施の課題	・施設の老朽化に伴い、増加が見込まれる修繕の計画的な実施
------	---------------------	---------	----------------------------	---------	------------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	15,253	14,517	△ 736	14,427	14,427	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	100	1	△ 99				
	一般財源	15,153	14,516	△ 637	14,427	14,427		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	42110	浄化槽整備費助成事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市循環型社会形成推進地域計画	市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
	種別			款	4	衛生費		基本分野	5		基盤・安全		
担当課	水道部 下水道課		内線	項	2	清掃費	分野	5	上下水道	H27実施計画額	千円		
			2264	目	1	清掃総務費	施策概要	4	水洗化の普及				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	下水道整備計画区域外の市民	どうしたいのか(意図)	・下水道が整備されていない地域の家庭等に対し、浄化槽の設置を促進し、発生する生活排水を適正に処理する ・公共用水域の水質汚濁の進行を防止し、生活環境を向上させる	概要	事業の実施手法(手段)	・下水道整備計画区域外の地域(浄化槽整備区域)で浄化槽を設置する市民に対して補助金を交付する ・特に建築年数が経っている既存の住宅については補助を上乗せし、個人負担を大幅に軽減することで、水洗化を推進する
	対象者数	656 世帯					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	・浄化槽整備事業補助金交付実績 18件							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	成果指標	浄化槽設置整備事業補助金交付件数	件	目標値	32	33	29	25
				実績(見込)	22	18	22	
	算出根拠等	交付件数		達成率(%)	69	55	76	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	・市民が住宅の水洗化に伴い浄化槽を設置する場合において、補助金により個人負担が軽減できる制度を知ることができるよう、様々な周知方法を活用し、浄化槽の設置を推進する
---------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・補助制度の周知にあたっては、行政サイドから市民への周知活動だけでなく、関係業者とも連携した周知活動をあわせて進めている	
次年度の実施方針	○維持・改善	・公共用水域の水質保全、生活環境の向上のため、補助事業を継続する (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善		
拡大		
縮小		
二次評価	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	24,061	16,389	30,040	25,408
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,093,682	910,500	1,668,889	1,411,556
	受益者	補助金利用者	(B)	22	18	18	18

5 予算編成(Action2)

事業内容	・下水道整備計画区域外の地域における浄化槽設置に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	・制度の周知、啓発
------	-------------------------------	---------	---------	-----------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		30,040	25,408	△ 4,632	25,038	25,038	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	2,500	4,325	1,825	3,762	3,762		
	県支出金	4,439	4,384	△ 55	3,820	3,820		
	その他			0				
	一般財源	23,101	16,699	△ 6,402	17,456	17,456		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	42300	し尿処理施設管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		基本分野	2		
担当課	水道部下水道課		内線	項	2	清掃費	分野	2	生活環境	実施計画事業	し尿処理施設管理事業
				目	3	し尿処理費		施策概要	2	公衆衛生環境の確保	H27実施計画額

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	し尿汲取り及び浄化槽設置の市民	どうしたいのか(意図)	・処理施設を適正に運転管理を行うことで汚水を適切に処理し、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努める ・適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的におこる修繕に対応し、継続して汚水の処理を行う ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する
	対象者数	14,106 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		<ul style="list-style-type: none"> ・定期修繕などを行い施設の機能維持を実施 ・処理施設において、処理した水は排水基準内であった ・委託業者の定期的な保守点検作業により機器等の故障による処理停止もなく、適切な汚水の処理を行った ・し尿、浄化槽汚泥の適切な処理の実施 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	成果指標	放流水の水質基準適合処理場	施設	目標値	2	2	2	2
				実績(見込)	2	2	2	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	機器故障、停電等によるし尿処理不能件数	件	目標値	0	0	0	0
				実績(見込)	0	0	0	
	算出根拠等		事故報告件数	達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	・通常の維持管理業務のほか、突発事故(停電、機器故障)発生時には速やかに対応した							

3 分析・評価(Check)

平成25決算における分析・評価で明らかになった課題	・機器の修繕にあたってはコストの削減に努めているが、突発修繕も発生している状況である ・計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、施設の延命化とコスト削減を図る必要がある
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している ・委託業者からもコスト削減に向けた事業提案を促している
次年度の実施方針	○ 維持・改善	施設の適切な管理運営を継続して行っていく
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	181,764	185,189	192,159	219,471
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	12,258	13,128	13,623	15,559
	受益者	し尿汲み取り及び浄化槽設置の市民	(B)	14,828	14,106	14,106	14,106

5 予算編成(Action2)

事業内容	環境センター及び久々野衛生センターの維持管理	要求のポイント	施設の維持管理経費 ・飛騨市への管理運営事務委託料	事業実施の課題	施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施
------	------------------------	---------	------------------------------	---------	----------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		192,159	219,471	27,312	194,099	194,099	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	4,324	4,799	475	4,324	4,324		
	一般財源	187,835	214,672	26,837	189,775	189,775		